

営業秘密の保護と「秘密特許」



元大阪大学大学院経済学研究科講師
西口 博之

目次

- I. はじめに
 - II. 営業秘密の保護
 - 1. 営業秘密の保護とその救済
 - 2. 営業秘密侵害防止策と法改正
 - III. 秘密特許の保護
 - 1. 秘密特許制度
 - 2. 海外の現状
 - IV. 我が国における秘密特許の今後
 - 1. 見直し論
 - 2. 今後の在り方
 - V. おわりに
-

I. はじめに

我が国で特許権が保護される態様は、発明（特許）を特許登録するか、或いは技術保有企業が営業秘密などを自社管理するかの何れかであるが、国家単位として軍事秘密等の管理上で重要な技術については、その海外流出を防止する策がない。

本稿では、最近「秘密特許」と呼ばれる特許出願しても情報を公開しない取組み並びに見直し論が我が国で議論されているが、それら取組みの成立の経緯、その後の経緯等の現状を分析することでその見直し論の議論を行うものである。